

マスクでジャンジーラ市支援

東京都府中市
京都市役所



ジャンジーラ市に贈る9641枚のマスクを前に、桂川市長(中央)と市職員ら(市役所フェイスブックより)

コロナ収束願う姉妹都市へ 日本全国から約1万枚集まる

【亀岡発】「早く収束し、また行き来できれば。聖州ジャンジーラ(Andara)市と姉妹都市提携を結ぶ京都府亀岡市が、5月下旬から約1か月の間に約1万枚の手作りマスクを集めた。感染拡大に苦しむ市を支援しようと、市民らに呼びかけたもの。七夕を過ぎた日本から、短冊ならぬマスクに願いを込め、ブラジルへ思いを届ける。

ジャンジーラ市は聖市から西に32キロ、人口12万5千人。姉妹提携は1985年に締結。両市に所在する大本教が仲介役となつて交流が始まった。京都府亀岡市には大本教本部亀岡宣言センターがあり、ジャンジーラ市には2004年に同教団の愛染堂が建設された。縁がある。これまで市制記念などの節目に親善の往来があり、今年、提携35周年を迎えている。6、7月ごろにそ

の記念訪問団を予定したが、コロナの影響でキャンセルになった。こうした状況や感染拡大に苦しむブラジル情勢に憂慮し、亀岡市側が「何か手助けできないか」とジ市に問い合わせたところ、出た答えがマスクだった。ちょうどその頃日本では、布製の手作りマスクが認知・普及し、品薄だった既製品も流通するようになった。支援企画「手作りマスクで姉妹都市サポータープロジェクト」を立ち上げるに至った。地元紙電子版にも呼びかけの記事が掲載された。ことで、遠くは北海道など全国から寄せられた。布製の手作り品を中心に、最終的には約259の個人・団体から9641枚が集まった。担当した亀岡市国際文化課の小塩暁子課長

文化庁 生活に役立つ日本語学習サイト 初めて学ぶ外国人向けに

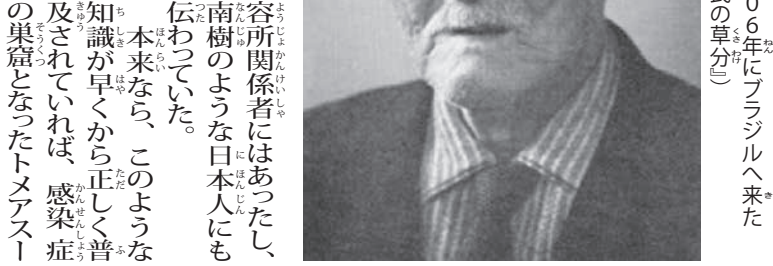
【東京発】文化庁は、外国人の急増に際し、外国人向けに「初めて学ぶ外国人向け」の日本語学習サイトを開設した。生活に役立つ表現を中心に、動画や音声で学べる。外国人が45万人いることから、地域による格差解消のため「日本語教育空白地域解消推進事業」を2018年から取り組んでいる。文化庁は、日本語教育推進を推進している。文化庁は、日本語教育推進を推進している。文化庁は、日本語教育推進を推進している。

日本移民と感染症との戦い 世界最大の日本人無医村で

日本の国立感染症研究所サイト(https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansensho-hanashu/519-malaria.html)にも「熱帯熱マラリアでは、早期に適切な対応をしないと、短期間で重症化し死に至ることがある」と説明されている。今現在も危険な死者が何十万人出るとい

さらに「マラリアは100カ国余りで流行し、毎年200万人が死んでおり、世界保健機構(WHO)の推計によると、年間2億人以上の罹患者と200万人の死亡者がいる」という驚くべき記述を見つけた。2011年現在の推計であり、わずかに9年前だ。今回の新型コロナウイルスで死者が何十万人出るとい

「予告された悲劇」マラリア
南樹は、水野龍から頼まれて「日本移民の実験台」として自ら耕地で働いた他、聖市ブラズ区の移民収容所情報収集をしていた。その際、収容所の上司に物知りのピートという人物がおり、彼にいろいろ質問しているシーンが描かれている。当時の収容所には病院があり、地方で様々な病に罹った移民を受け入れて治療していたので、公衆衛生の事情に明かされた。マラリアについて聞かれたピートは開口一番「マ



第1回移民船の前、1906年にブラジルへ来た鈴木南樹(伯国日本移民の草分け)

夏の間は日が長いから、夕刻になってもまだ明るさが残っているが、冬になると黄昏は足早にやってくる。授業が始まる頃はすでに夕闇がすぐそこに迫って来ている。必然、教室はランプを使っている。陽が落ちると、この地方は内陸性の気候のせいであまり急激に気温が下がるから、一挙に涼しくなる。日によっては肌寒いほどになり、教室内の空気もひんやりとしてくる。その中でこのランプに照らされての授業は何だか情緒があつて、好ましい雰囲気を感じ出して

文化庁日本語課は在日外国人の日本語学習に役立つ動画教材を制作した。Amplando conexões e horizontes através do convívio com o idioma japonês. Site para estudo do idioma japonês voltado aos "estrangeiros residentes no Japão".

小説 クリスト・レイ 中島宏 (12)

Hatiro Shimomoto Advocacia OAB 8115 下本八郎法律事務所

Dr. MONICA Y. MORISHITA 電気鍼療法 もぐさ、レーザー 磁石による治療 体重減少にも効果的

MARUITI logo and product images (Tonkatsu, Yakissoba) with website URL www.maruiti.com.br

TEMPLO XINTOISTA DO BRASIL 南米神宮 logo and address information

8県35地点で降水量最多



球唐川が氾濫し、水に漬かった熊本県人吉市の市街地=4日午前11時49分(共同通信社ヘリから)

72時間降水量の最大値

きょう特別警報1週間

【共同】梅雨前線の影響による今回の豪雨で、3〜10日に観測された72時間降水量の最大値が、熊本県など8県の計35地点で観測史上1位になったことが気象庁のまとめで10日分かった。強い雨が長く降り続いたことが被害を大きくしたことがうかがえる。4日、熊本、鹿児島両県に特別警報が発せられてから1週間、九州の死者は63人に、行方不明者の捜索や復旧作業が続く被災地では降り続く雨に警戒感が高まった。

西日本から東北の広い、高まつており、気象庁は土曜日の11日にかけて局地的に雷を伴った1時間に50〜80ミリの非常に激しい雨が降りそうだが、8日は特別警報が出た熊本の7地点、鹿屋市の4地点、佐賀、長崎の各2地点、長野の1地点が観測点がある。降水量が最も多かったのは筑後川の氾濫で浸水被害が発生した大分県田市の86.20ミリ。他に熊本県湯前町と鹿児島県鹿屋市が70.00ミリ、岐阜県下呂市と福岡県大牟田市で60.00ミリをそれぞれ超えた。30地点は降水量が7月の降水量の平均値を上回り、鹿屋市は2倍を超えた。35地点のうち4地点は平均値のデーターがない。

1時間降水量も岐阜県山崎、長崎、熊本、宮崎、鹿児島各県の計11地点で観測史上1位の値を更新。鹿屋市の109.5

東京、連日更新243人

コロナ、経路不明が半数

首都圏、歯止めかからず

【共同】東京都は10日、8割を占め、感染経路が不明な人は半数弱に上った。新たに埼玉県で44人、神奈川県で32人が確認され、首都圏で増加傾向に歯止めがかからない状況だ。国内の新規感染者数も430人となり、緊急事態宣言解除後で最多となった。

一方、10日はイベントの制限が緩和され、無観客開催だったプロ野球とサッカーのJリーグは5千人を上限に観客を入れて公式戦を実施した。東京都の小池百合子知事は、都内の増加は検査体制が整備されてきたことが背景にあるとの認識を示し、「できるだけ多くの人に検査を受けてもらい、陽性の人には適切な対応をすべく医療体制を整えて」と話した。現状については「ステイホームを続けるより、皆さんが(感染)気を付けて新しい日常をつくらせていく」と指摘した。

小池氏と埼玉県の野田元裕知事、千葉県の森田健作知事、神奈川県の黒岩祐治知事はテレビ会議を開き、小池氏は「生活圏が同じ1都3県で緊密に連携し、情報を共有し、感染予防策を実施している店舗の利用などを呼び掛ける共同メッセージをまとめた。西村康稔経済再生担当相や専門家、感染事例が多い新宿、豊島

野球、サッカー制限緩和

【共同】陸上自衛隊が初めて導入する輸送機オスプレイ1機が10日、米軍岩国基地(山口県岩国市)から陸自木更津駐屯地(千葉県木更津市)に到着し、陸自オスプレイは南西諸島の防衛強化を目的に17機導入され、陸自相浦駐屯地(長崎県佐世保市)を拠点とする離島防衛の専門部隊「陸自機動団」の搬送などを担う計画。そのための近接する佐賀空港に配備する方針だが、地元漁協との調整が難航しており、木更津駐屯地に暫定配備された。

【共同】藤田医大(愛知県)の研究では、明確な有効性は示されなかった。アビガンが参加した新型コロナウイルス感染症の治療薬臨床試験の結果、アビガンが有効性を示さなかった。アビガンが有効性を示さなかった理由として、アビガンの投与量が不足していたことや、アビガンの投与が開始されたのが遅かったことが挙げられている。藤田医大は「アビガンの有効性を示すには、さらなる研究が必要」としている。

陸自オスプレイ 暫定配備

木更津駐屯地に1機目到着

【共同】陸上自衛隊が初めて導入する輸送機オスプレイ1機が10日、米軍岩国基地(山口県岩国市)から陸自木更津駐屯地(千葉県木更津市)に到着し、陸自オスプレイは南西諸島の防衛強化を目的に17機導入され、陸自相浦駐屯地(長崎県佐世保市)を拠点とする離島防衛の専門部隊「陸自機動団」の搬送などを担う計画。そのための近接する佐賀空港に配備する方針だが、地元漁協との調整が難航しており、木更津駐屯地に暫定配備された。

アビガン有効性示されず

回復早い傾向も、藤田医大

【共同】藤田医大(愛知県)の研究では、明確な有効性は示されなかった。アビガンが参加した新型コロナウイルス感染症の治療薬臨床試験の結果、アビガンが有効性を示さなかった。アビガンが有効性を示さなかった理由として、アビガンの投与量が不足していたことや、アビガンの投与が開始されたのが遅かったことが挙げられている。藤田医大は「アビガンの有効性を示すには、さらなる研究が必要」としている。

繁華街の飲食 2週間自粛を

【共同】東京都内の新型コロナウイルス感染者数が2日連続で最多を更新した10日、都医師会の尾崎治都医師会長が呼び掛け、繁華街の飲食を2週間自粛を要請した。尾崎氏は「都内では、繁華街の飲食が飛び交わっている。感染予防につながる2週間、できれば4週間自粛してほしい」と呼び掛けた。家族に医療・介護関係者がいる人は特に注意が必要としている。尾崎氏は「都内では、繁華街の飲食が飛び交わっている。感染予防につながる2週間、できれば4週間自粛してほしい」と呼び掛けた。家族に医療・介護関係者がいる人は特に注意が必要としている。

中韓台と緩和交渉へ

出入国制限、10カ国と

【共同】政府は、新型コロナウイルス感染症の緩和を巡り、中国や韓国、台湾を含む10カ国と交渉を進めている。出入国制限の緩和を巡り、中国や韓国、台湾を含む10カ国と交渉を進めている。出入国制限の緩和を巡り、中国や韓国、台湾を含む10カ国と交渉を進めている。

同盟深化確認

茂木氏、米高官と会談

【共同】茂木外相は、鮮担当特別代表と東京10日午前、来日中の北朝鮮副外相と会談した。北朝鮮による核・ミサイル開発について意見交換し、同盟関係の深化を確認した。茂木氏は「北朝鮮による核・ミサイル開発については、同盟関係の深化を確認した。茂木氏は「北朝鮮による核・ミサイル開発については、同盟関係の深化を確認した。」

JORNAL NIKKEI新聞 EDITORA JORNALÍSTICA UNIÃO NIKKEI LTDA. Rua da Glória, 332, Liberdade Cep 01510-000 - São Paulo - SP - Brasil TEL: (11) 3340-6060 | FAX: (11) 3341-6476 Site: www.nikkeishimbun.jp

Director Presidente: Raul M. Takaki Jornalista Responsável: Takao Miyagui - MT 15.167-SP Redator: Masayuki Fukasawa

記事に関するご意見 Redação: redacao@nikkeishimbun.jp

配達・購読契約に関する連絡 Assinatura: nikkeishimbun@yahoo.com.br

広告に関する連絡、問い合わせ Publicidade: anuncio@nikkeishimbun.jp

Periodicidade: diária (terça-feira a sábado) Assinatura Impressa Anual: R\$ 840,00 | Semestral: R\$ 450,00 Assinatura Digital (PDF) Anual: R\$ 500,00 | Semestral: R\$ 270,00